

NAKAO 2023



概要版

中尾校区 第一次
ふくしのまちづくり計画

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり



2027



～ボランティア募集～

できる人が、できることをやりながら
お互いに見守り活動しませんか？



中尾校区社会福祉協議会

〒807-0843 北九州市八幡西区三ヶ森 4-6-1

中尾市民センター内

TEL 093-612-3881 FAX 093-612-3903

基本理念

みんなが安心して暮らせる 支え合いのまちづくり

中尾校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。その実現に向けて、2023年から2027年までの5カ年に行う5つの基本目標と、それぞれに基づくさまざまな取り組みを定めました。

◆ 5つの基本目標と主な事業・活動

学び合い、地域の結束力を 強めよう

各関係機関・団体に、連絡調整会議、班会議への出席を呼びかけ、話し合いの場の充実を図ります。また福祉活動の広報啓発、福祉協力員研修を行うなど、地域全体で、誰一人取り残さないきめ細やかな見守り活動を行い、安心して暮らせる支え合いのまちを目指します。

- [重]ふれあいネットワーク活動の再構築
- 社協連絡調整会議（社）
- 金山川清掃（自・ま）
- 生涯学習市民講座（セ） など

世代間のつながりを 広げよう

地域の小中学生と保護者がボランティア活動に参加できる場と交流する場を増やし、住民同士が触れ合いながら、世代間のつながりを強めていきます。また、家庭教育学級を支援するなど、未来を担う子どもたちを地域で育む豊かな環境をつくりまします。

- [重]次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘
- 三世代交流グラウンドゴルフ（自）
- 瀬板の森 三世代交流ウォーキング（社）
- 家庭教育学級（セ） など



三世代交流金山川観桜ウォーキング

みんなで福祉の風土を 深めよう

地域行事を通じて住民間のつながりを深め、次世代を巻き込んだ福祉の風土づくりに努めます。

- 「お元気ですか？」を活用した見守り活動（社）
- 敬老会（自）
- 人権市民講座（セ）
- 花咲く街かどづくり推進事業（ま） など

地域の文化を つなげよう

歴史ある地域の行事の盆踊りや慰霊祭、どんど焼きなどを継続し、次世代への文化の継承に努めます。

- どんど焼き（自・ま）
- アートギャラリー（自）
- センターまつり（セ・ま・自・社）
- 慰霊祭、盆踊り（自） など

みんなで健康づくりの 輪を広げよう

いつまでも健康で生き生きとした生活が送れるよう、さまざまな健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばす活動を継続していきます。

- サロン活動（社）
- 新春三社参りウォーキング（ま）
- 吉祥寺藤まつりウォーキング（ま）
- 健康講座（ま・セ） など

◆ 重点実施項目

※目標を達成するために特に力を入れて取り組む内容

●ふれあいネットワーク活動の再構築

抱える問題点

現在の見守り対象者は、町内会に加入している65歳以上、一人暮らしの方としています。しかし、支援を必要とする高齢者や子どもたち、障害のある人を含む世帯など、地域福祉のニーズは複雑、多様化しています。そこで、誰一人取り残さないために支援を必要とする世帯を把握し、日常적인見守り活動の再構築が必要になっています。

解決のために取り組むこと

連携する各機関に協力を呼びかけ、良好な関係を構築しながら、きめ細かい見守り活動が行える体制づくりに取り組みます。

●次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘

抱える問題点

令和4年、中尾校区の高齢化率は33.3%と、北九州市の平均（31.2%）を若干上回る程度ですが、活動者の高齢化は進み、固定化されがちな状況があります。また、若い世代が地域活動に参加する機会が少ないことも課題だと考えています。

解決のために取り組むこと

- ①地域の小中学生、保護者と高齢者が多世代で交流する機会を増やし、福祉に関心を持ってもらう。
 - ②若年層が継続的に地域活動に参加できる仕組みをつくる。
 - ③地域行事をイベント化する。
- ①～③を継続的に取り組むことで、次世代の地域福祉活動の担い手の育成と発掘を目指します。